



人と自然と文化が息づく 美しい村

第 5 次 原 村 総 合 計 画 (抜粋)

平成 28 年度～平成 37 年度



the most beautiful
villages in japan

原村
長野県

長野県原村

「人と自然と文化が息づく 美しい村」

第5次原村総合計画

平成28年度～平成37年度

長野県原村

目次

第1部 序論 1

第1章 計画策定の意義 2

第2章 計画の性格と役割 3

1. 計画の構成と期間 3
2. 原村の概況 4
3. 住民アンケートから 10
4. ワークショップから 13

第2部 基本構想 17

第1章 原村の将来像 18

第2章 基本理念 19

1. 人・環境にやさしいむら 20
2. 皆が元気に安心して暮らせるむら ～しごと・子育て・教育環境の充実～ 20
3. 産業の連携による活力あるむら 21
4. 住民が活躍できるむら 21

第3章 村づくりの目標 22

1. 人と自然を大切にしたい美しく住みよい村づくり 23
2. 人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり 24
3. 健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり 25
4. 産業振興による魅力・活力のある村づくり 26
5. 皆が活躍できる持続可能な村づくり 27

第4章 将来人口の目標 28

第5章 土地利用の構想 29

第1部

序論

第1章 計画策定の意義

第2章 計画の性格と役割

第2章 計画の性格と役割

1. 計画の構成と期間

(1) 基本構想

村づくりの方向と目標を定めるとともに、その達成のための基本的な考え方を示したもので、目標年次を平成37年度とします。

(2) 基本計画

基本構想に定めた目標を達成するための施策の方向性について、分野ごとに定めた計画です。

基本計画は、前期5年間と後期5年間に分け、前期基本計画は、平成32年度を最終年度、後期基本計画は、平成37年度を最終年度とします。

(3) 実施計画

基本計画で定めた施策を具体化し、予算編成の指針とするものです。計画の期間は、3年間をめどとし、毎年見直しを行いながら事業を推進します。

(4) 計画の管理と実行

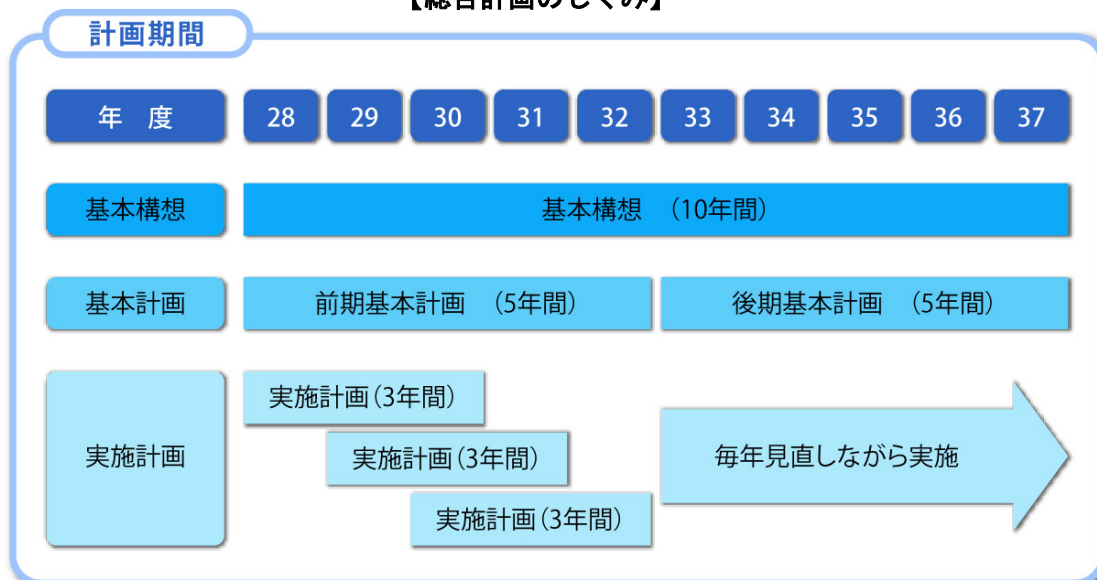
基本計画に掲げた政策及び施策については、PDCAサイクル*を通じて、取組状況及びその効果を評価、検証するとともに、必要に応じて見直して着実に実を結ぶよう計画を管理していきます。

その際、外部識者を交えた行政評価委員会など、計画の進捗状況を確認する審議組織を通じて取り組み、将来像の実現をめざします。

【用語の説明】

*PDCAサイクル…Plan-Do-Check-Actionサイクルの略で、計画、実行、評価、改善の4段階を繰り返しながら改善していくこと。

【総合計画のしくみ】



第2部

基本構想

- 第1章 原村の将来像
- 第2章 基本理念
- 第3章 村づくりの目標
- 第4章 将来人口の目標
- 第5章 土地利用の構想

第2章 基本理念



全国的に行われた「平成の大合併」では、合併の道ではなく自立による村づくりを選択しました。厳しい行財政のなかでも、医療・福祉分野の充実、移住・定住政策を展開してきました。

今後も厳しい財政運営が予想されるなか、本村が自立した村であり続けるためには、多くの経費のかかる施設を建設して住民サービスを向上させていくことは困難なことです。

現在ある「資源」、活用が不十分な施設、素晴らしい自然や文化であったり、埋もれている人材であったり、それらの持つ魅力にスポットを当てて、住民のいきいきとした活動で資源を結びつけ、連携させながら有効に活用して、夢のある村づくりを進める必要があります。

人口減少・少子高齢化社会に突入し、原村人口ビジョン[※]の独自推計によると一定の施策を実施しても、平成37年の人口は7,340人まで減少し、高齢化率は36%に拡大すると予想されます。

行政の収入は減少し、高齢者の扶養負担等社会費用負担が増大し、厳しい財政運営となり、住民への行政サービスの維持又は向上は難しいこととなります。

私たちは、先人から譲り受けた美しく住みやすい我が郷土原村が、さらに魅力あふれる村として引き続き発展していくよう、次のような4つの基本理念のもとで、住民の英知を結集して「持続可能な村づくり」を進めます。

【用語の説明】

※ 原村人口ビジョン…人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示したもの。「原村地域創生総合戦略」の基礎となるもの。



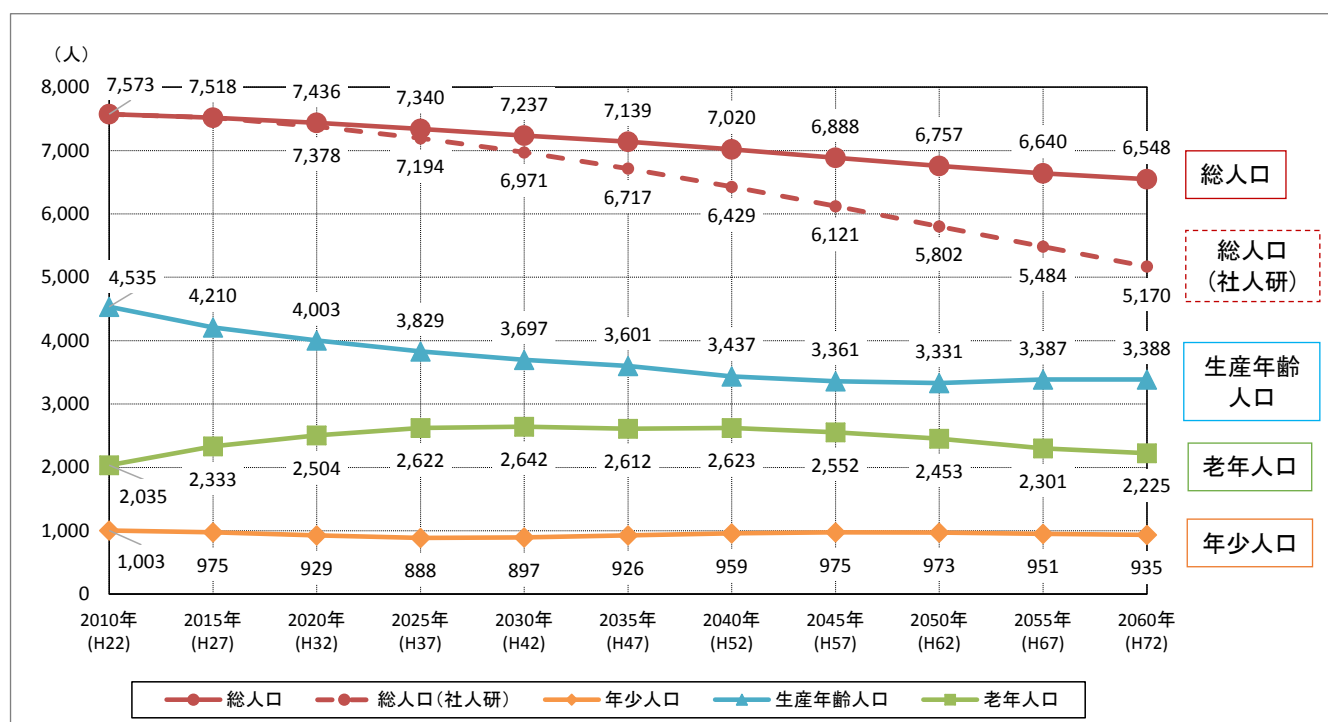
第4章 将来人口の目標

本村では、移住・定住施策や子育て・福祉施策の充実等に取り組んできました。これらの政策が実を結び、平成27年の国勢調査でも人口を維持するとともに元気なお年よりが暮らす村となりました。

しかし、全国的には本格的な人口減少、少子高齢化の時代を迎えており、本村も今後は減少に転じていくと予想されます。(6ページの社人研推計参照)

このような背景のもと、従来取り組んできた政策及び各種施策をブラッシュアップ[※]し、産業の活性化や子育て支援、特色のある教育、住環境の整備などの原村地域創生総合戦略を展開しながら、村の活性化、人口維持政策に取組み、若い人たちが夢や希望を叶えられる村づくりを進め、人口減少を抑え、**平成37年の総人口7,340人**を目指します。

【原村の人口推計】



原村人口ビジョンにおける独自推計値
社人研：国立社会保障・人口問題研究所による推計値

【用語の説明】

※ブラッシュアップ・・・みがき上げること。一段と優れたものにする事。